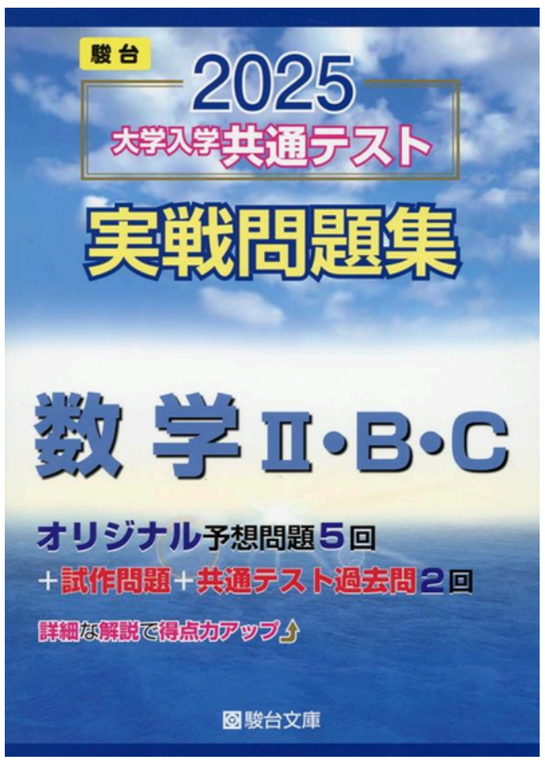
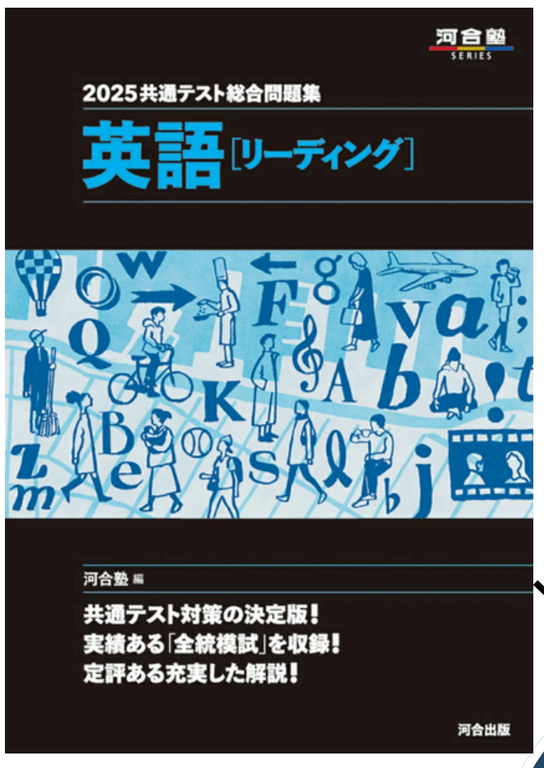
共通テスト対策

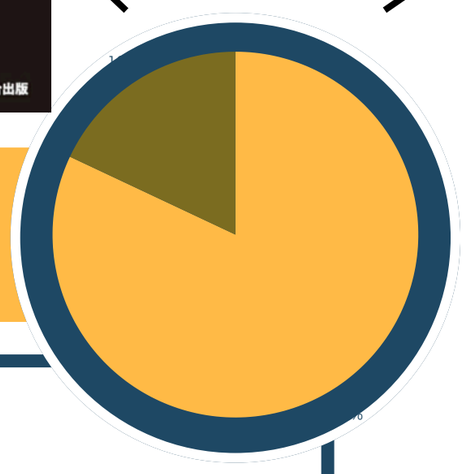
①予想問題集を解くべし！

オススメ！





回答者約8割が使用！

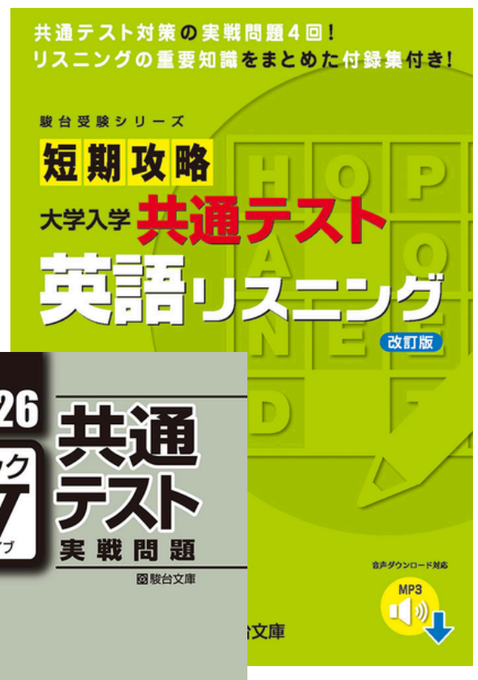


Z会・駿台・河合塾共通テスト実践問題集

実践力をつけるには予想問題集が最適！

- 演習量を多くするため共通テスト直前は毎日解きました。(都市科学部オカピ)
- 間違えた問題、不安な問題は念入りに復習しました！(経済学部KH)
- とにかく形式と時間に慣れることを意識しました。(理工学部JT和茶和茶)

他にも…



共テは時間との勝負！回答時間を10分減らして練習していました。
(理工学部ひ)

学校の参考書で復習しながら予想問題を解いていました。そこで分からなかった知識はノートにまとめて定期的に見返してました！
(教育学部M)

共通テスト

二次対策

赤本

小論文・面接・プレゼン

共通テスト対策

②単語帳を駆使するべし！

国語

オススメ！

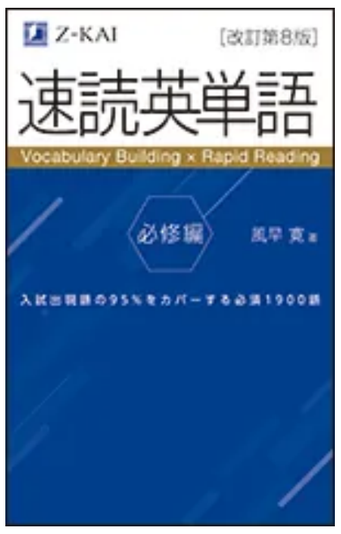
漢文必携/漢文早覚え速答法/古文単語315

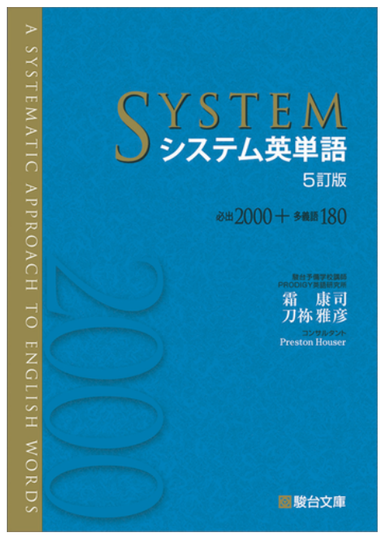
古典・漢文は語句勝負？

- 漢文必携
→例文や句形を読み上げたものを録音し聞きました。(都市科学部A.N)
- 漢文早覚え速答法
→共テレベルの文法を網羅した音読文が掲載されていて、毎日読んでました！(都市科学部まなぴやん)
- 古文単語315
→単語系は毎日朝と夜取り組みました。(経済学部Y)

英語

オススメ！



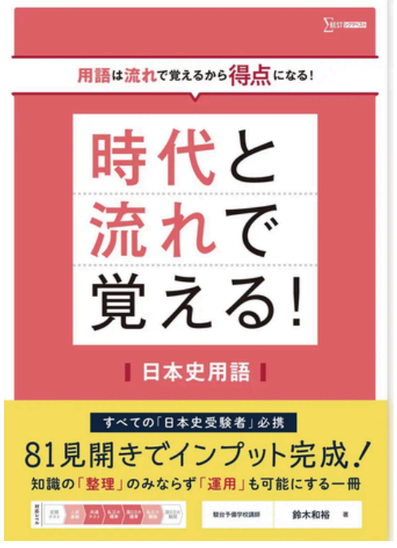


速読英単語/ターゲット/システム英単語

「繰り返し」が重要！

- 速読英単語
→読解力をつけたくて購入。通学中にやりました。(理工学部ういんた)
- ターゲット
→単語は毎日繰り返しコツコツ覚えるようにする！(教育学部IM)
- システム英単語
→フレーズごとに覚える形式なので時間の無い共通テストにおいても即戦力！(都市科学部stellar)

理科・社会



一問一答シリーズ/時代と流れで覚える

覚え方を工夫すると..?

- 一問一答シリーズ
→暗記に役立ちました。(都市科学部まる)
- 時代と流れで覚える
→何回も見直して、唱えました。裏話や面白い話と結びつけて覚えるといいかも。(都市科学部AS)

学校指定の単語帳をやりこむ人が多いみたいだよ！

共通テスト

二次対策

赤本

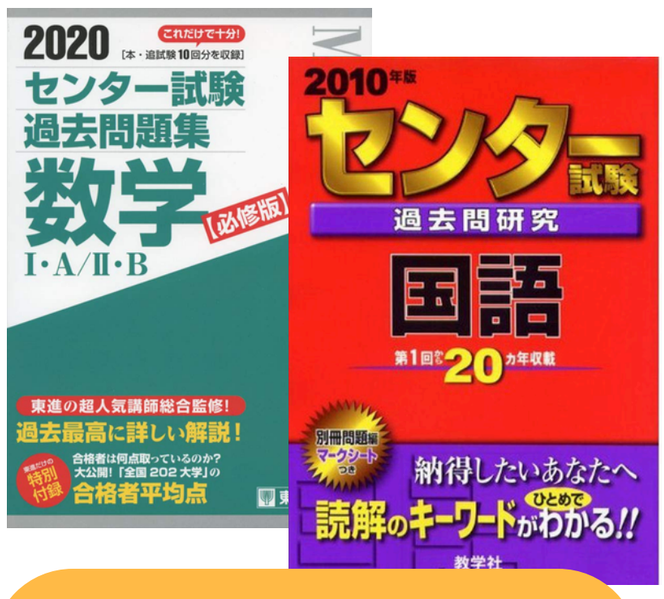
小論文・面接・プレゼン

共通テスト対策

①②以外で横国生が共テ対策で使ったオススメ本を紹介！

③推し教科書・参考書で勉強！

全教科



センターの過去問

演習にぴったり！！

センターの過去問は質がいいと聞いたので使っていました。何十年分も解けるのでお得です！
(都市科学部まなぴやん)

基礎的な問題が多いので、基礎固め＆解くスピードを上げることに重宝しました。
(都市科学部おこた)

分からない問題・分野はYoutubeの解説を見ていました！

世界史・日本史

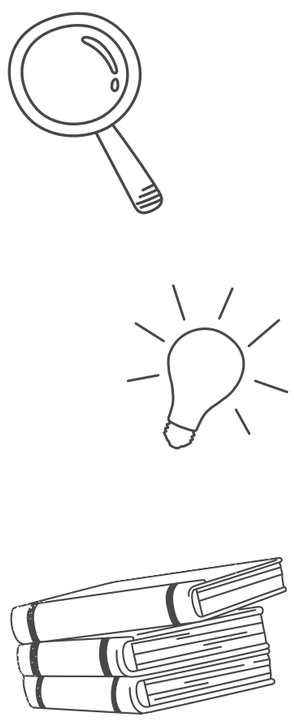
諸説 世界史/諸説 日本史

教科書はすべてを語る

世界史は年号をしっかりと覚えることが重要。(経営学部たんたん)

授業ノート中心に教科書も使いつつ知識のインプットをしていました！(経済学部ねこ)

読みすぎて表紙がとれました。図や表に注目して流れを確認してました！ (経済学部かな)



番外：情報の勉強法

高校情報 I /WINSTEP/きめる！共通テスト

昨年の先輩はどう対策してた？

情報は志望する大学により点数の配分が変わるので、自分に必要なだけ勉強しよう。
(教育学部IM)

WINSTEPは分野別で問題演習できます。特にプログラミング問題が多くて良い。
(都市科学部まる)

知識の暗記だけなら教科書で十分だと思い、教科書をメインに使ってました！
(教育学部K.A)

共通テスト

二次対策

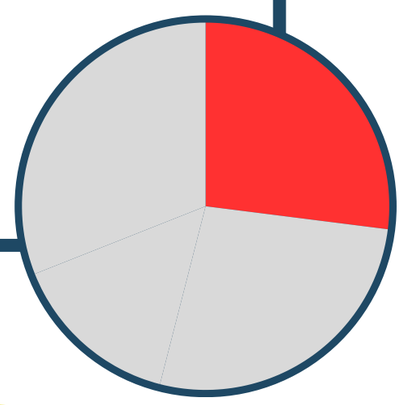
赤本

小論文・面接・プレゼン

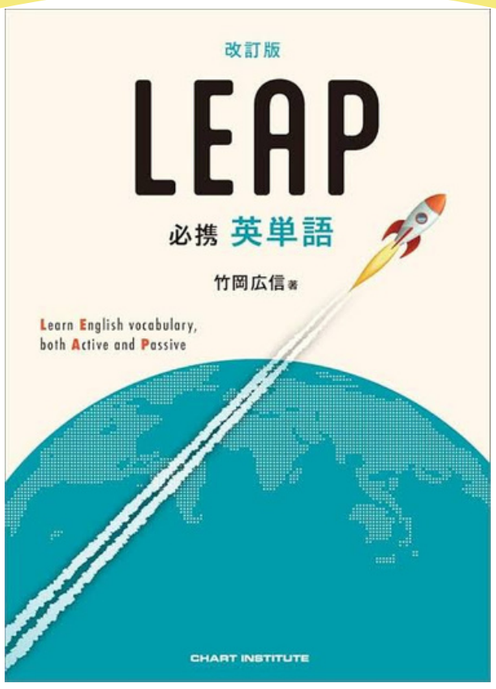
二次英語

やっておきたい英語長文

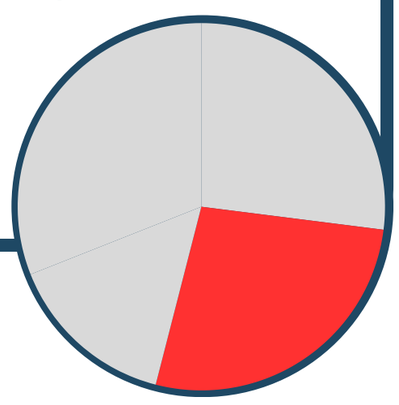
長文読解の演習でよく使われるシリーズです！週〇題解くと決めていた先輩もいます！



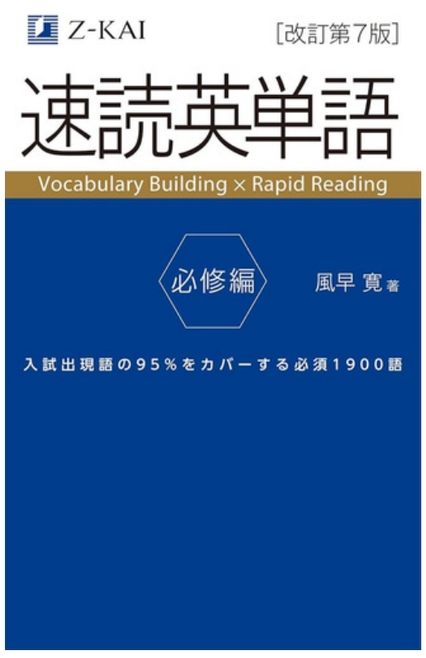
LEAP

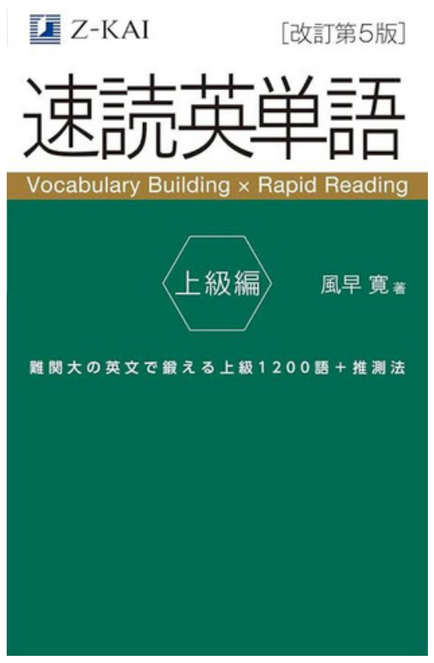


結局単語が１番大切…！！毎日コツコツ続けましょう！

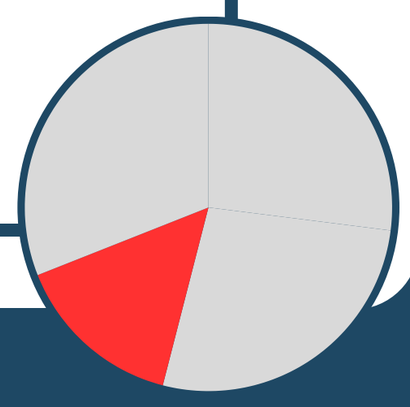


速読英単語





英単語帳は学校で使用しているものを使っている人が多い印象です。１冊を完璧にしましょう！



共通テスト

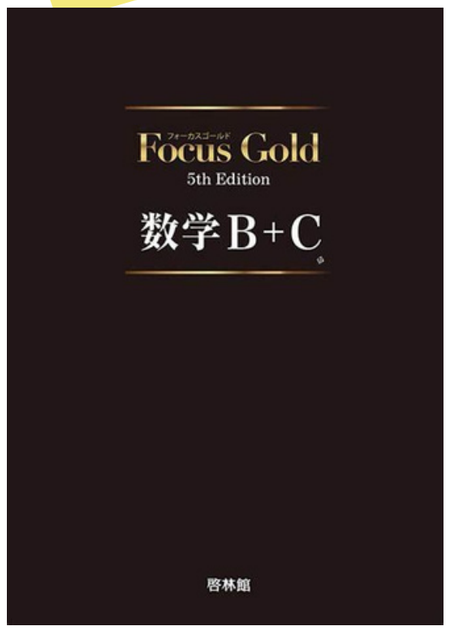
二次対策

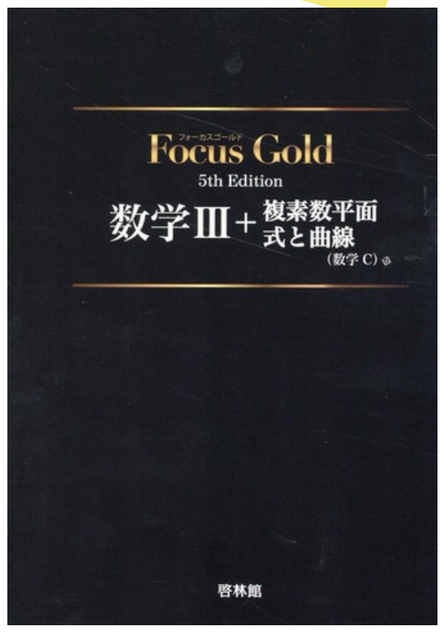
赤本

小論文・面接・プレゼン

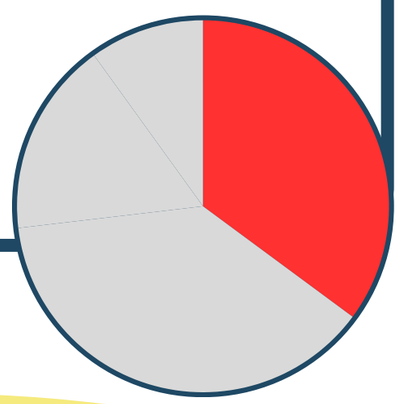
二次数学

Focus Gold

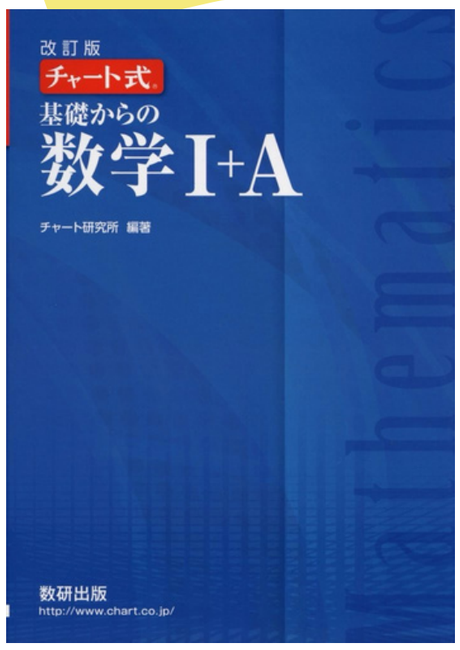




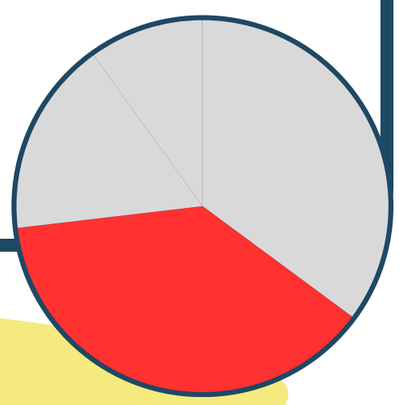
難しい問題に
チャレンジ！
赤本の類題を
解いてみたり…



青チャート

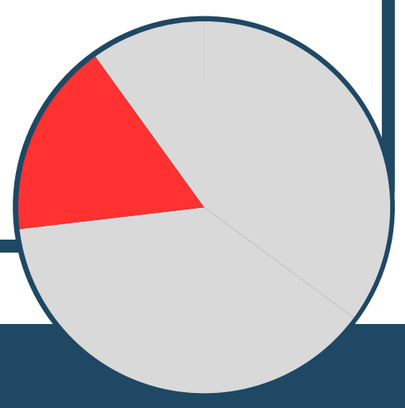


やっぱり基礎が
１番大事！！
基礎固めに
ぴったりな１冊



１対１対応

実際に入試で使え
る実戦的な解法を
知るのに◎
典型問題が網羅
できる！



共通テスト

二次対策

赤本

小論文・面接・プレゼン

二次物理

物理のエッセンス

物理の基礎を
固めたいときに
オススメです！
物理入門として
使えます！！

物理重要問題集

“重問”でおなじみ！
たくさんの演習を
積むことができ、
物理に慣れることが
できます！！

良問の風　物理

物理が苦手な方に
ピッタリです！
物理の考え方を
身に付けたい
ときに使おう！！

共通テスト

二次対策

赤本

小論文・面接・プレゼン

二次化学

化学重要問題集

これをやって
おけばまず間違い
なし！
重問で数を積もう

説明→演習→解説
の繰り返しで、
化学を身に付け
られます！
幅広い難易度を
網羅！！

大学受験Doシリーズ 化学のバイブル

化学の新研究・新演習

化学の辞書のよう
に使えます！
基礎から超難関大
レベルまで理解を
深められる！！

共通テスト

二次対策

赤本

小論文・面接・プレゼン

赤本

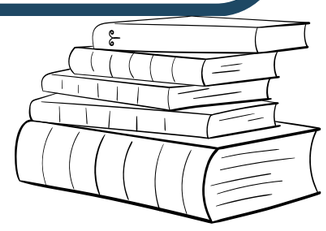
横国の赤本

間違えた問題は印をつけて
もう1回解き直しました。
（経済学部M）

週に何題と教科ごとに決めて、しっかり復習し、添削もしてもらい、何度か解きなおしもしました。
（理工学部Y）

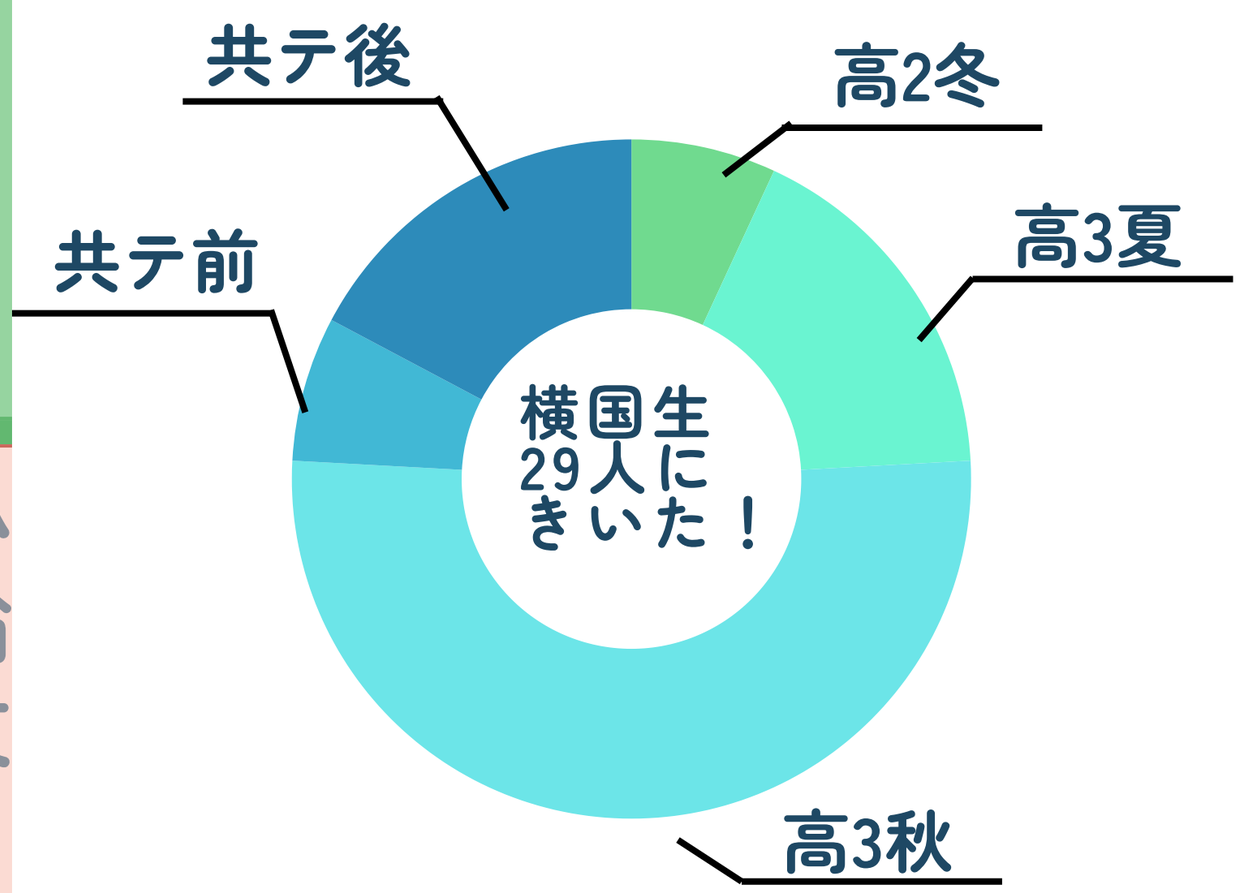
演習を積んでは反復をし定着を狙って学習していました。
（理工学部感受性くん）

最新の2年くらいは後に残して、3年程前から10年程前まで遡る感じでした。
（経済学部OK）



横国生の声

いつから赤本解き始めた？



高2冬に1回解いて自分に足りないものを把握しました。（教育学部IM）

10年前～6年前のものは10月頃から12月前半にかけて時間を見つけて解きました。共テ後には5年前～昨年分を、本番と同じ時間で解きました。
（経済学部OS）

9月頃に第一志望のを1年分解いて傾向をつかみました。それ以降は少しレベルを落とした大学の問題を解き、12月頃から本格的に第一志望の赤本を解いていました。
（理工学部S.K.）

演習をし、答え合わせと抜けている知識や間違えた原因などを考察します。
（経済学部ちかいわ）

必ずしも時間を計らなければいけないわけではない、
やるべきだと思った勉強法を選びましょう!

小論文

都市科学部都市社会共生学科対象

昨年の先輩はどう対策していた？

- 要約や説明の問題では国語の問題集と同じような問題を解くことで、本番に対応できる力をつけることができました！
- この学科の過去問は3年分しか公開されていないので、他大学の過去問で似た内容が問われているものに取り組みました。
- 都市社会共生学科は共テ比率が高いので、共テまでは小論文に手をつけず、共テ後に集中的に対策しました。
- 国語の先生に過去問を添削してもらったり、気になるネットニュースで小論文問題を自分で作って解いたり、新聞を毎日読んで自分なりの意見を持って読むようにしたりしていました。
- 塾の小論文対策授業を受けていました。

オススメの参考書は？

- 『まるまる使える入試頻出課題小論文』
- 『7日間で合格する小論文、小論文の完全ネタ本（人文・教育系）』
- 『小論文の完全ネタ本社会科学系』

最も多かった回答が

「過去問を解いて先生に添削してもらう」

でした！

小論文は自分で手を動かして書いてみて、それを他の人にチェックしてもらうということの繰り返しが極めて重要です！また、都市社会共生学科の過去問は数があまり多くないので、他大学の過去問を解いていたという先輩も多かったです。

小論文

教育学部対象

昨年の先輩はどう対策していた？

・教育関連の本をたくさん読みました。
・学校の先生に添削してもらうのが正直1番ためになりました。時間があるのなら、同じ問題を何回もやるとより上達できます。過去問や類似したテーマの問題を解き添削指導を何度も受けたことで短時間で書けるようになりました！
・過去問はもちろん、系統の近い大学の過去問を解きまくりました。（東進データベースが便利）
・頭の中にできるだけ多くの知識の引き出しを持っておくことが大切なので、ニュースなどを見て様々な事に関心を持つようにしました。
・よくありそうなテーマごとに、何を書くか決めて、自分の中で主軸を作っていました。

オススメの参考書は？

・『小論文これだけ！-教育編-、小論文･面接の時事ネタ本教育･教員養成系編』
・『得点者の心をつかむ 合格する 小論文のネタ(人文・教育編or社会科学編)』
・公共の教科書
・新聞

多かった回答が

「過去問を解いて先生に添削してもらう」
「教育関連の知識を増やしておく」
でした！

教育学部の小論文は独特なものが多いので、普段から教育に関連することに注意しておいたり、時事ネタを逃さないよう意識していたりした先輩が多かったです。

面接

都市科学部（都市社会共生学科、都市基盤学科、環境リスク共生学科、建築学科対象）

・予想できる質問はあらかじめ回答を考えておきました。
・担任の先生に面接練習をしてもらっていました。
・何を聞かれても大丈夫なように、幅広い分野を調べました。
・「としゃきょうラジオ」という番組が出題形式について扱ってくれていたので、参考にしていました。
・自分の興味関心のあることを調べたり、学部学科の特色をよく把握しておくようにしていました。

教育学部対象

・同じ教育学部志望の人を集めて、集団面接＆討論会をしていました。
・Kei-Net（河合塾の大学入試情報サイト）で情報を収集して、そこからどう答えればいいかイメージしていました。
・教育問題について、新聞や書籍をたくさん読んでいました。

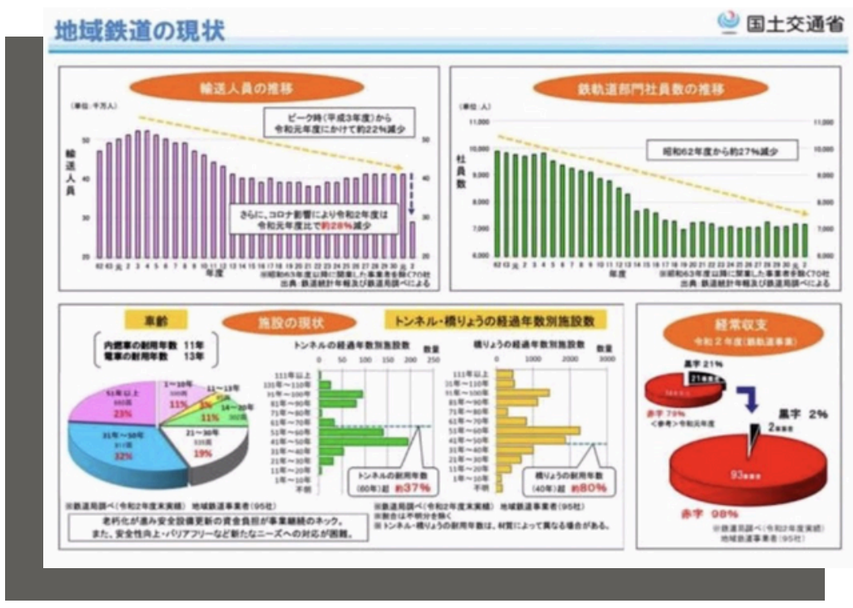
オススメの参考書は？

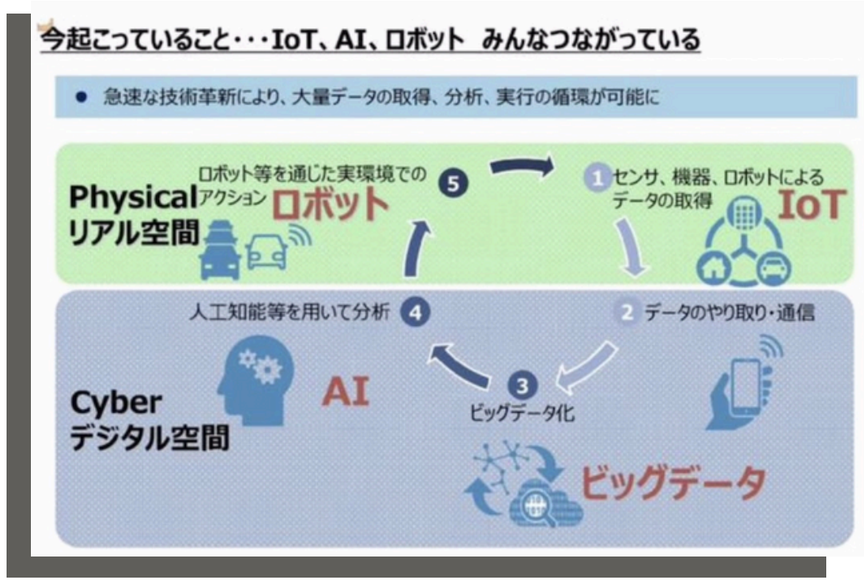
・『今から間に合う 総合・推薦入試面接』
・『ゼロから1ヶ月で受かる 大学入試面接のルールブック』

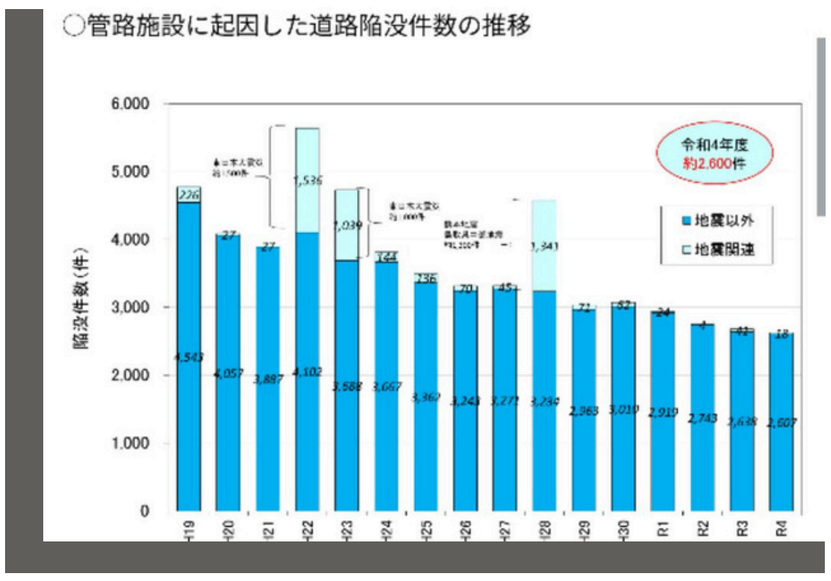
圧倒的に多かった回答が
「先生と模擬面接をした」でした！
やはり面接は練習あるのみで第三者からアドバイスをもらうことでよくなっていきます。本番でも先生との練習の成果が活かされたという先輩が多かったです。

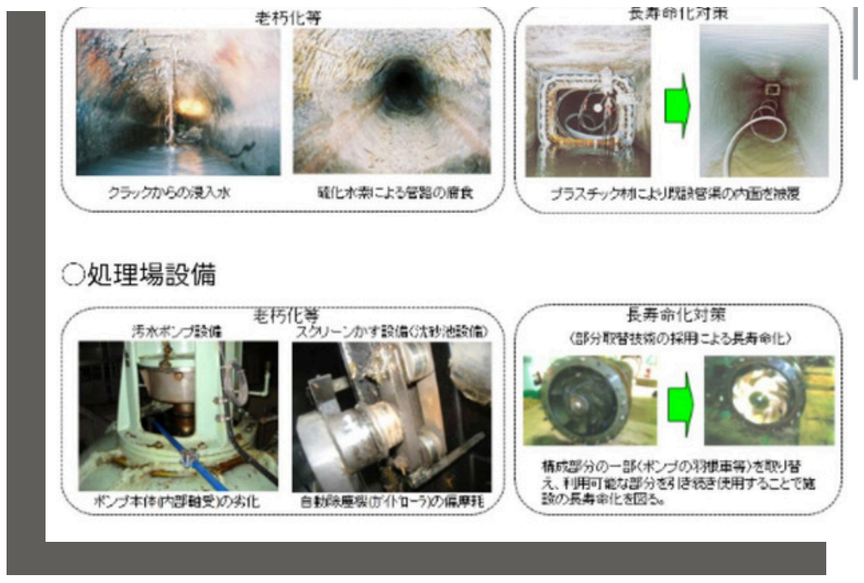
プレゼン

都市科学部都市基盤学科、環境リスク共生学科対象









上：2023年度都市基盤学科総合型入試
下：2024年度都市基盤学科総合型入試に使用

昨年の先輩はどう対策していた？

- 過去問、土木の資料を普段から読んでいました。
- 色々な先生たちからお題を出してもらっていました。
- 担任の先生とひたすら練習していました。
- 過去問から出そうな分野を予想していました。
- 国土交通省やエネルギー庁が発行している書類のまとめ版などを読んで、社会の課題と解決方法、自分の考えを頭にストックしていました。
- 環境問題に関して文理双方の視点から書かれている本がオススメ！環境リスク共生学科のプレゼンテーションは文理どちらの視点のものがくるか分からないため、幅広く対策するのが大切だと思います。
- 総合型選抜の要項を読んでもプレゼンの明確なテーマは書かれていないので、高校の先生に資料を複数用意してもらって読み取れることをまとめて発表するという実践的な練習を何度か繰り返しました。本番を想定して練習すると面接当日も焦ることなく対応できると思います！
- 幅広い知識や考え方を入れておけば本番で役立つと思います。
- 様々なパターンをたくさん考えて、メモをして…を繰り返し、自分だけのオリジナルノートを作成していました。